



Musashi RED Programs

**2026 年度
受講生募集案内**

学校法人 根津育英会武蔵学園

目 次

ご挨拶	1
RED プログラムとは	2
講師紹介	3
デバイスの使用について	3
RED プログラム 2026-2027 について	4
イブニングプログラム	5
Basic コース «主に中学 1 年生対象»	5
Intermediate コース «主に中学 2 - 3 年生対象»	6
Completion コース «主に中学 3 - 高校 1 年生対象»	6
Advanced Program «主に高校 1 - 2 年生対象»	7
RED Fellows Capstone Program	8
サマープログラム	9・10
RED 修了生の声/受講後の変化	11
申込み方法について	12
参加費について	13
キャンセルポリシー	14
プログラム開催地について	15
お問い合わせ先	15

■ 個人情報の取扱いについて

武蔵学園（武蔵大学、武蔵高等学校中学校）個人情報保護指針

本学園は、学生・生徒及び本学園に係わる方々の個人情報を保護するために、法令等を遵守し、指針を定め、個人情報を適正に取り扱うよう努めます。

1 個人情報の取得及び利用について

本学園は、適法かつ公正な手段によって、個人情報を取得し、利用目的の範囲内のみで使用します。

2 本人からの開示請求等について

本学園は、本人から自己の個人情報について、開示・訂正・利用停止等を求められた場合、速やかに適正な対応をします。

3 個人情報の管理について

本学園は、個人情報を正確に保ち、安全に管理します。そのために、教職員、学生及び生徒に対し、研修・教育を実施し、個人情報の適正な取扱いを徹底します。

4 個人情報の第三者提供について

本学園は、法令に定める場合を除き、事前に本人の同意を得ることなく、個人情報を第三者に提供しません。

5 個人情報保護規程等の策定、維持、改善

本学園は、この指針を実行するため、「個人情報保護規程」とそれに関連する規程を定めるとともに、個人データ取扱台帳を作成し、継続的に改善します。

Message

ご挨拶



池田 康夫 / 学校法人根津育英会武蔵学園 学園長

武蔵高等学校・中学校には建学の三理想があります。『1、東西文化融合の我が民族理想を遂行し得べき人物 2、世界に雄飛するにたえる人物 3、自ら調べ自ら考える力のある人物 を育成すること』です。この三理想は 100 年余りに作られたものですが、決して色褪せることなく、急激に国際化が進み、グローバル人材育成の必要性が叫ばれている現在においても非常に適切な教育理念であり、これ迄に数多くの有為な人材を輩出してきました。

武蔵学園では世界に雄飛し、国内外における諸課題の解決にリーダーシップを発揮できる人材育成を目標に、中高生を対象にした、『英語で科学を学ぶ』イメージ教育である RED (Research, Essay Writing, Discussion) プログラムを 2014 年より始めています。

科学のいろいろなテーマについて、調べ、考え、論文にまとめる力を養うと共に、科学的な思考過程を身に付けるための英語プログラムを提供します。中学・高校で学んでいる英語を科学という興味ある学問の場で実践してみる良い機会にもなるでしょう。世界共通の言語である英語を習得する新しい試みとして生徒さんに大いに役立つプログラムであると確信しています。

授業は、科学のバックグラウンドを持つ外国人講師が担当します。講師は種々の工夫をし、生徒とのコミュニケーションを取りながら、英語で科学への理解を深めるよう授業を進めます。数学、物理、生物、化学、地学、天文学の他、医学、建築学、工学などに関連する様々なトピックスを題材に、生徒さんそれぞれが、自ら調べ、思考を巡らし、その結果を講師や仲間と英語で議論をします。それぞれのクラスには数名の外国人のティーチング・アシスタントがついており、授業を補助致します。このような「イメージプログラム」は外国語習得の効果的な方法として現在多くの国々で試みられています。

RED プログラムは武蔵高等学校・中学校の生徒さんに限らず、他校生にも門戸を広げ、参加を呼びかけています。このプログラムを通じて我が国から世界をリードする優秀な人材が数多く生まれることを心から期待しています。

RED プログラムとは

RED とは「Research, Essay Writing, Discussion」の頭文字を取ったもので、武蔵の建学の「三理想」を現代に生きる世代に向けて実践し、「科学的なものの見方」を育てます。受講生は世界共通の知の体系である「科学」を世界共通言語である英語で学ぶことを通じて、知性と教養を身に着けることを目指します。9月開講のイブニングプログラムと、夏期に集中して科学探究の楽しみを体験するサマープログラムの2つのプログラムで構成されています。



| RED で学ぶ

■ 学ぶ内容

- 生物・物理・化学をはじめ、複数の科学分野を幅広く学習できる
- 現代社会を形作った科学者の発見・発明のストーリーから、科学者に共通する特性を理解
- 科学と社会の関わりを多角的に捉え、批判的思考を育成

■ プログラムを通して育まれる力

- 科学の広がり和社会への影響を深く理解する力
- データや事象を多面的に分析する力
- 探究に必要な考え方・姿勢を段階的に習得

■ プログラム構成

目的やレベルに応じて以下の4段階に分かれています。

レベルが上がるごとに、より専門的で高度な内容へ進み、知識・分析力を段階的に深めていきます。

Basic

Intermediate

Completion

Advanced

卒業生の声

“英語を学ぶ”じゃない。“英語でやる”力が身についた4年間

武蔵高等学校 98期 | University of Western Australia 在学中

私はREDをBasicからAdvancedまで、4年間学びました。私が海外で学ぶ中でつくづく思うのは、私の恩師が言っていたように、REDは世界中の高校生や大学生に劣らない学びをしており、この学びは必ず自分自身、そして日本の近い将来に役立つということです。具体的に、REDでは「英語を学ぶ」のではなく、「英語で何かをする」ことを身につけることができ、私はこれが現代日本に最も必要な考え方で、さらにこれを中高在学中に習得できるのはとても貴重で革新的だと思います。私はREDで効率的に楽しく学ぶことを覚え、自然と英語力も向上しました。また、REDの講師やTAは本当に優しく、英語が辿々しくてもしっかりと理解・サポートしてくれるので、ぜひREDに入り、積極的に講師やTAと話し、そして「継続」してください！継続していく中で自らの成長を感じる瞬間が必ず訪れます！

| REDプログラムの授業と学校の授業の関係

REDプログラムは、受講生が学校で学ぶ科学と英語の授業の内容を補完し、その知識をさらに深める機会を提供します。受講生は、講師や仲間との英語でのコミュニケーションを通じて、科学的な概念を理解し、学力や批判的思考力を高めます。この英語のみの学習環境は、学校での学びを深化させるとともに、将来、国際的に活躍する力を与えてくれます。また、このプログラムでは、受講生が自分の興味のあるテーマに集中することができ、独立した学びや知的成長を促進します。科学だけでなく、科学技術が社会に与える影響についても学び、将来、科学・技術、その他の分野でのキャリアに必要な知識とスキルを身につけることができます。



REDプログラムのティーチング・アシスタント

各クラスには5~6名の受講生に対して1名のティーチング・アシスタントが付きまます。これらのアシスタントは、世界各国から日本に留学している大学院生や研究者であり、受講生たちは科学者としての彼らと直接交流し、異文化を日常的に体験することができます。

講師紹介



アカデミック・コーディネーター・講師 タン・ダット・ブォ Dr. Thanh Dat Vo

ベトナム国家大学附属英才教育高等学校にて生物学と英語を専攻し、早稲田大学大学院で博士号取得。Microsoft Certified Educator (MCE) 認定。



講師 ジェームス・カーサー James Cossar

トロント大学にて生物学を学び、外国人向け英語教育の経験豊富。日本の高等学校においても英語教育に携わる。



講師 アレックス・ケマ Dr. Alex Quema

デ・ラ・サール大学（フィリピン）にて物理学専攻、大阪大学大学院で博士号取得。国際バカロレアの DP 認定校にて教鞭をとる。



講師 ムハンマド・シャーハン Dr. Mohammed Sarhan

東京大学大学院医学系研究科で博士号取得。慶應義塾大学 健康マネジメント研究科 特任助教。



講師 マイケル・アリンズ・オグブゴ Michael Arinze Ogbugo

芝浦工業大学理工学研究科にて修士号取得(電気電子工学専攻)。



講師 ライアン・ベンラリビ Dr. Rayene Benlaribi

東京大学大学院医学系研究科で博士号取得（免疫学）。

デバイスの使用について

本プログラムでは、iPad 等の**デバイスを使用します**。予め、各自でご用意をお願いします。
(武蔵高等学校中学校の生徒は、Completion コースまで学校の iPad をご利用ください。
Advanced Program については、学校の iPad ですと一部操作に制限があるため、別途デバイスをご用意ください。)



REDプログラム 2026-2027 について

RED Programs Overview

REDプログラムの構成

イブニングプログラム

Research・Essay Writing・Discussion 3つの力を伸ばすカリキュラム

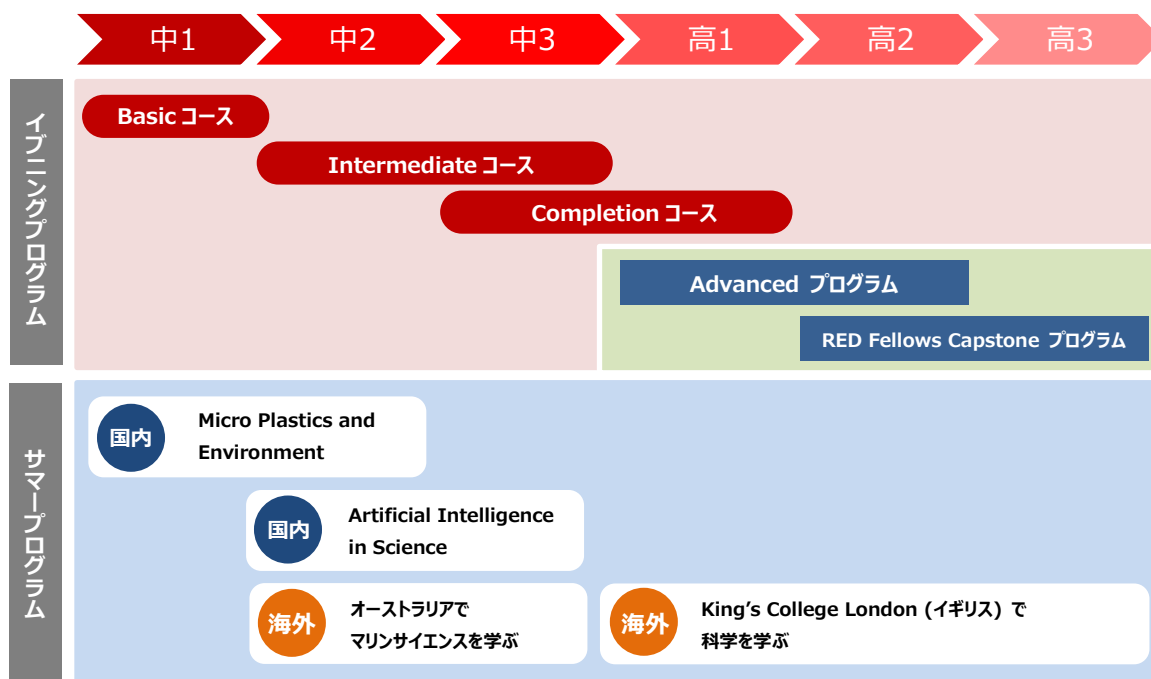
9月から翌年6月までを1年とし、1学期(9月-11月)、2学期(1月-3月)、3学期(4月-6月)の3学期制です。週2回、放課後の6時半から8時半の2時間、江古田キャンパスで学びます。
各学期の最終日には保護者の方も参観可能な発表会を開催します。

サマープログラム

集中して科学の探求を楽しむ

長期休業中の短期間、集中して科学を学びます。
世界最先端の研究を行う科学者から直接講義を受けたり、海岸などへのフィールドトリップも予定しています。
中3以上を対象に、貴重な国際的な経験を提供する海外プログラムも実施します。
協定校である英国ロンドンのKing's College Londonで医用生体工学を学ぶプログラム、
オーストラリアで海洋科学と保全について学ぶプログラムがあります。

REDでの6年間(受講例)



※上記は受講例です。受講するコースやプログラムは英語力等により選択できます。

Evening Programs

イブニングプログラム 2026年9月-2027年6月

週2回放課後に武蔵学園江古田キャンパスで行うプログラムです。授業を担当するのはサイエンスのバックグラウンドがある講師です。また全てのクラスで生徒5~6名に1名のTeaching Assistant(TA)が付きまます。講師が学期毎に選んだ科学領域のメインテーマを元に、生徒達は Research, Essay Writing、そして Discussion をします。

開講中は、REDプログラム推進センターのスタッフが事務所に常駐。
授業終了後は保護者の皆さまにメールが送信されます。

各コースの開講の曜日・時間

コース・プログラム名	授業日・時間	授業数
Basic/Intermediate	月・水 18:30-20:30	約20回/学期(計3学期)
Completion/Advanced	火・木 18:30-20:30	約60回/年

Basic コース概要

▶対象:主に中学1年生

▶定員:25名

目標 科学に関係する英語の基礎を身に付け、与えられたトピックを自分で調べ、それについて簡単な文章を英語で書き、基礎的なディスカッションができるようになることを目指します。

授業 科学の幅広い分野をまず学びます。また科学者の伝記を読み、そこから科学の基礎的な考え方を知ります。その学びを通して生徒は自分が興味を持つ分野を探求します。

科学を直に感じ、さらに学びを深め、興味を持つような簡単な実験もします。



Ready for RED Program

9月からの授業に先立ち、REDプログラムの授業に慣れるための準備コース「Ready for RED Program」を予定しています。

※この準備コースは選考の一環となります。詳細は12ページをご確認ください。

日程:8月24日(月)-8月28日(金)
時間:10時-12時

[Basic コース授業例]

- 18:30 授業スタート, Follow-up Questions (「好きなゲーム」という題で疑問詞を使って会話練習)
- 18:50 Reading "Earth and the Moon" (地球と月に関する文章をTAと一緒に読み、問題やアクティビティを実施)
- 19:20 Research Exercise (地球と月に関する事実を英語のサイトだけ使って調べる)
- 19:40 Moon Craters Experiment (月のクレーターがどのようにできるかを小麦粉を使って実験する)
- 20:15 Short Reflection (授業の振り返りなど)

Intermediate コース概要

▶対象：主に中学 2-3 年生

▶定員：25 名

目標 科学の知識を広げると共に英語の 4 技能の基盤づくりをし、さらに科学の分野を深く学ぶ力を身に付けます。

授業 Basic と同様、様々な科学に関するトピックを英語で学びます。科学に関する文章を読んだり、Essay Writing の基本の型を学び、その型をもとに論理的に自分の意見を書くことに挑戦します。プレゼンテーションの基本的な態度や型も修得し、各学期末の発表会では英語で発表も行います。



[Intermediate コース授業例]

- 18:30 授業スタート, Memory Muscle Ups (トピックに関連する科学クイズを英語で行い、ウォーミングアップ)
- 18:50 Comprehension/Observation Questions (トピックに関連する動画を見て、問題に挑戦する)
- 19:10 Vocabulary (その日の実験で使用する語彙の練習)
- 19:40 Experiment: Find out how your eyes work (虫眼鏡やさまざまな図形を用いて、瞳孔の仕組みを学ぶ)
- 20:10 Reflection (授業の振り返りなど)

Completion コース概要

▶対象：主に中学 3-高校 1 年生

▶定員：25 名

目標 RED プログラム レギュラーコースの最終年度として、生徒は自分の興味あるトピックを自ら調べ、調べたことを自分の言葉で論理的に書き、仲間と議論をし、最終的に自分の言葉で発表できるレベルを目指します。

授業 地球、原子、アルゴリズム、AI、微生物等、幅広い分野を学びつつ、英語と科学への興味を最大限に引き出していくように指導します。各学期、生徒は共通テーマについて英語で学習し、議論します。その後、個人のリサーチエスチョンを選び、英語で調べ、個人で明確かつ自信をもって発表するプレゼンテーションスキルを磨きます。



[Completion コース授業例]

- 18:30 授業スタート, Taboo Game (生徒とペアになって、英語の Taboo Game に挑戦する)
- 18:40 Vocabulary Study (科学に関連する英単語を学習する)
- 19:10 Reading (「トムソンとラザフォードの原子モデル」に関するリーディング)
- 19:40 Research Note (その学期に研究するテーマについて、アイデアや参照資料をまとめて書き出す)
- 20:00 Research Time (講師や TA のサポートを受けながら研究テーマを深める)

RED Advanced Program

RED アドバンスプログラム

▶対象：主に高校 1-2 年生

▶定員：15 名

▶概要：英語で科学をさらに深く学びたい生徒、科学的なテーマ(自然科学のみはもちろん、自然科学に社会科学や人文科学等の要素を加えた複数分野にまたがるテーマも可)についての研究を深めたい生徒、より高度な英語力を身に付けたい生徒、将来海外進学も考えている生徒などを対象とした、RED プログラムの「最上級コース」です。

数字やデータに基づく考え方を学び、様々な文献を読み、リサーチトピックを自ら調べ考え、決定。最終学期には、自分の興味ある分野に関して英語で論文を書き、発表を行います。

また以下の学びの場も準備します。

1. 現役科学者であるメンターによる個別指導により、学術的(Academic)な学びをサポートします
2. 海外進学に関する実用的(Practical)な知識、情報の入手、リサーチスキルの習得

卒業生の声

アカデミックな英語で世界に挑む

武蔵高等学校 98 期 | 東北大学在学中

私は高校 1 年から 2 年にかけて 1 年間アドバンスクラスで学びました。それまで学校の英語の授業だけでしか学んでこなかったため、科学的なトピックを全て英語で議論し、毎授業ごとに大量のライティング課題が出る RED の環境は、最初のうちは本当に大変でしたが、だんだんできるようになっていきました。そのおかげもあって、ブラウン大学のサマーキャンプに参加したり、国際天文学・天体物理学オリンピックに日本代表として参加したりした際に、躊躇なく会話して、アカデミックな内容を世界中の人たちと深めることができました。RED での学びはみなさんが留学して学ぶ際に日常会話だけでなく学問的なレベルで必ず役に立つでしょう。

Pre-Advanced Program

Advanced program は、準備コース「Pre-Advanced Program」から授業がスタートします。

▶日程：8月24日(月)-8月28日(金)、8月31日(月)の6日間

▶時間：10時-13時 *8月31日(月)は終日理化学研究所へのフィールドトリップを予定しています。

Pre-Advanced Program 終了後、9月からは週2回(火・木)の授業となります。



Guest Lecture | ゲスト講義

Exploring the Hidden Brain 脳の隠れた世界を探検する

講師 理化学研究所脳神経科学研究センター チームディレクター 長井淳先生 (Ph.D.)

脳は宇宙にもたとえられるほど複雑で、まだ多くの謎に包まれています。科学者の仕事は、その未知の世界を少しずつ探検していくことです。本講演では、脳研究の歴史をたどりながら、科学者がどのように新しい発見をしていくのかを紹介します。最後に、私の研究を例に、脳の中のまだ知られていない細胞の働きについてお話しします。

The brain is often compared to a universe—vast, complex, and still largely unknown. The work of a scientist is to explore this hidden world step by step. In this lecture, I will introduce the history of brain science and how researchers make discoveries about the brain. Using my own research as an example, I will also show how new ideas about previously overlooked brain cells are changing our understanding of how the brain works.



New

RED Fellows Capstone Program

RED フェローズ・キャップストーンプログラム

▶ **対象** : Advanced program 修了生・英語での研究を更に深めたい生徒

▶ **定員** : 2-3 名程度

▶ **概要** : Advanced program を修了した生徒やその他英語での研究を更に深めたい生徒に対し、研究や国内外での研究発表に挑戦するための指導及びサポートを行います。プログラムの最後には、生徒は自身の研究内容を英語で発表し、その発表に対して研究者や PhD の学生等によるフィードバックを受けられる機会*を設けます。*現状では、沖縄科学技術大学院大学(OIST)を予定しています。

■ **プログラム受講期間** : 2026 年 9 月-2027 年 6 月(9 か月、12 月は除く)

■ **受講日・時間** : 2 週に 1 回のミーティングと月 2 回程度のオンラインでの個別面談

■ **担当講師** : RED 講師 1 名

※受講費用は 12 ページ「参加費について」をご覧ください。

また、受講にあたり別途選考を受けていただく場合がございます。選考が必要となる場合にはご案内いたします。

RED Evening Q&A

❓ **中 2 から RED をスタートすることは可能ですか？**

その場合、コースはどうなりますか？

中 2 からスタートする方もいらっしゃいます。

中 2 の場合には、基本的には Intermediate からスタートですが、模擬授業で様子を見させていただいた上で決定します。

❓ **中 1 から Intermediate、中 2 から Completion など募集要項記載の主な対象学年より上のコースを受講することはできますか？ 学期の途中でコースを変えられますか？**

模擬授業で様子を見させていただいた上で、主な対象学年より上のコースを受講することは可能です。

また、学期の途中でコースを変更することもできます。

❓ **全く英語を話せなくても、申込みは可能でしょうか？**

お申込みいただけます。受講生は中学校から英語をスタートされる方がほとんどで、講師や TA によるサポートもございますので安心してご参加いただけたらと思います。

ゲスト講演会

全コース共通

専門家・研究者による特別講演

実践的な探究力を育む

RED プログラムでは、年間を通じてさまざまな分野で活躍する専門家や RED 卒業生をお招きし、受講生向けの講演会を実施しています。

過去の講演会例：

- 神馬征峰先生 (東京大学 名誉教授) 「The Power and the Limits of Science: Living with Uncertainty (科学の力と限界 不確実性ととも生きる)」
- 加藤千明先生 (農学博士 深海微生物研究者, NPO 法人チームくら号 機関長) 「Global Warming and Marine Plastic Problems (地球温暖化と海洋プラスチック問題)」
- 桐谷純子先生 (東京大学 助教) 「What is epidemiology? Its basics, application, and caveats (疫学とはどんな学問？基礎と応用と落とし穴)」



Summer Programs

サマープログラム

RED プログラムのサマープログラムは、フィールドトリップや様々なアクティビティも取り入れた普通の学校の授業とは違う体験型のプログラムです。生徒一人ひとりが自分の関心のあるテーマについて研究し、それぞれのプログラムの最終日に研究成果を発表します。

※海外サマープログラムの募集時期について、King's College London で科学を学ぶ RED 海外サマープログラムは、1 月下旬から募集を開始し、3 月末に一次締切、(一次締切で定員に満たない場合)4 月中旬に最終締切となります。オーストラリアでマリンサイエンスを学ぶ RED 海外サマープログラムは、2 月下旬から募集を開始し、4 月下旬に締切となります。

2026 年サマープログラム概要

	プログラム名	対象	日程	内容
国内 (江古田 キャンパス他)	Micro Plastics and Environment	主に中学 1~2 年	7 月 20 日(月・祝) ~ 7 月 24 日(金) (5 日間) 10:00-16:00	海洋生物学と環境科学について学びます。海洋研究開発機構 (JAMSTEC) の元上席研究員の指導のもと神奈川の海岸で MP 採取、調査をするフィールドトリップもあります。
	Artificial Intelligence in Science	主に中学 2~3 年	7 月 20 日(月・祝) ~ 7 月 24 日(金) (5 日間) 10:00-16:00	実践的なアクティビティを通して、AI がどのようにデータから学習し、科学分野でどのように活用されているか学びます。新しいテクノロジーが未来をどのように形づくっているかについて、実際に見て学ぶ日本科学未来館(予定)へのフィールドトリップもあります。
海外	King's College London で科学 を学ぶ RED 海外サマープログラム (株) エステーエートラベル 受注型企画旅行 応募締切: 4 月 13 日 17 時まで	渡航時 15 歳以上	8 月 1 日 (土) ~ 8 月 11 日(火・祝) (11 日間) * 上記日程前に事前 学習あり	医学・工学・生物学そして AI といった複数の学問領域で構成される Biomedical Engineering をテーマに、King's College London の教授による講義や 3D プリンターや AI を体験する実習を通じてテクノロジーが様々な地球規模課題をどう解決できるかについて考えるプログラム。大学寮に滞在し、現地学生との交流することができます。  本プログラムは、武蔵学園とイギリスの名門校 King's College London (KCL) の協定に基づき実施されます。
	オーストラリアでマリンサイエンスを 学ぶ RED 海外サマープログラム (株) エステーエートラベル 受注型企画旅行 応募締切: 4 月 20 日 15 時まで	渡航時中 3 ※中 2 も可、 但し条件あり	8 月 15 日(土) ~ 8 月 23 日(日) (9 日間) * 上記日程前に事前 学習あり	オーストラリア東海岸の海洋生物相に触れながら、海洋環境や生態系について、フィールドワークや実習を通じて楽しみながら学びます。プログラムの後半には、地元の家庭でのホームステイも体験できます。



(Micro Plastics and Environment)

「考えよう、海岸から地球の未来！～野島海岸でのマイクロプラスチック調査と実験～」

講師 元国立研究開発法人海洋研究開発機構 (JAMSTEC) 上席研究員 加藤千明先生 (Ph.D.)

毎年約 800 万トンのプラスチック (プラ) ごみが海洋に流出しているといわれておりますが、海岸に漂着して回収される海洋プラごみはそのうちのほんの数%程度です。そう、プラごみのほとんどは海に流れ最終的には深海に蓄積します。そして、海の生態系に深刻な影響を及ぼし、地球温暖化問題と並んで私たちの惑星「地球」の未来に暗い影を落としています。

本プログラムでは、野島海岸で科学的な手法でマイクロプラスチック調査を行い、得られたサンプルを使い比重実験や顕微鏡観察をします。こうした実験を通して今の海の現状を学び、人工物が自然の回復力を超えた「人新世」の現代に生きている私たちが、海と地球の未来のために「何をすべきか？」「解決する課題は何か？」などについてディスカッションします。



RED Summer Programs Q&A

❓ サマープログラムにだけ参加することはできますか？

可能です。サマープログラムは、イブニングプログラムを受講していない生徒 (武蔵以外に通われている生徒含む) にも門戸を広げています。

❓ サマープログラムの参加要件はどこで確認できますか？

RED プログラムの公式ページおよび公式 Instagram で情報を公開しています。

RED 修了生の声/受講後の変化

「新しい環境に挑戦するたび、RED で学んだことが生きていますと感じました。」

RED プログラム修了生 (2026 年 4 月より慶應義塾大学理工学部 進学予定)

私にとって RED Program は、「探究する力」の原点となった場所です。専門分野の先生方の指導のもと、英語で自分の興味のあるテーマを調べ、考え、議論する経験を重ねました。RED で学んだ研究の進め方や物事の捉え方、議論に向き合う姿勢は、その後の研究活動の大きな基礎となりました。高校在学中には医学部の研究室で研究に取り組み、学会の一般演題で発表する機会を得ることができました。さらにスウェーデン海外研修などにも選抜され、より専門性の高い環境で学ぶ経験にもつながりました。新しい環境に挑戦するたびに「RED で学んだことがここで生きています」と感じる瞬間がありました。振り返ると、RED での学びは、研究・発表・議論といった経験をつなぎ、次の挑戦へと進む力を与えてくれた土台だったのだと思います。RED Program は、未来の学びへとつながる探究の力を育ててくれるプログラムです。

「英語を学ぶ」から「英語で考える」へ — RED で築いた学びの土台

RED プログラム修了生 (武蔵高等学校 100 期 | 2026 年 4 月より東京大学文科三類 進学予定)

私は中学 2 年から高校 2 年まで RED に通いました。当初は英語に苦手意識がありあまり乗り気ではありませんでしたが、RED を通して今では英語がとても好きになりました。RED は英語を学習の対象ではなく、学び、思考するための「道具」として扱う点に特徴があります。科学分野の内容や学術的な論文の書き方を学ぶインプットと、議論やライティングなどのアウトプットの組み合わせで RED を通して、私は自らの思考力や表現力、実践的な英語運用力を高めることができました。また、発表会やエッセイでは徹底した指導を受けたことで、自分の考えを客観的に他者へ伝えることの重要性を実感しました。さらに海外プログラムでは高度な講義に取り組み、現地の人々との交流を通して英語への自信も得ました。これらの経験は学校生活や創作活動、国際交流にも活かされ、私を支える学びの土台となっています。



RED 修了生の進路や、
修了生による講演情報を
公式ホームページで公開中

申込方法について

| 申込みおよび選考

		日 程	内 容
イブニング プログラム	お申込み	4月11日(土) - 5月25日(月)必着	参加申込書(ホームページからダウンロードできます)に必要事項をご記入の上、郵送(簡易書留)もしくはメールにて RED プログラム推進センター宛にお送りください。
	選 考*2	6月5日(金) または 6月6日(土) 結果通知: 7月初旬予定	受講の意欲などをみる目的で、作文*1の提出と模擬授業を受けて頂きます。その結果により受講の可否を判断します。選考の日時、結果の通知はメールで連絡いたします。 *Basic コースに申込の方は 8/24~8/28 開催の準備コース「Ready for RED program」も選考の一環となります。受講の様子によっては、9月以降の Basic コースへの参加をお断りする場合もあります。
サマー プログラム (国内)	お申込み	4月11日(土) - 6月8日(月) 必着	イブニングプログラムとサマープログラム両方 を同時に申し込む場合は、上記イブニングプログラムの申込日程に従って必要書類をご提出ください。左記日程は サマープログラムのみ のお申込み、またはイブニングプログラム申し込み後に追加でサマープログラムを申し込む場合の日程になります。参加申込書に必要事項をご記入の上、作文*3とともに郵送(簡易書留)もしくはメールにて RED プログラム推進センター宛にお送りください。

*1 作文は、Basic・Intermediate は日本語と英語(継続生の Intermediate は英語のみ)、Completion と Advanced は英語になります。RED プログラムに新規に応募される生徒には、模擬授業と同じ日に選考会場にて、制限時間内で作文を書いていただきます。

*2 選考は生徒のみの参加となります。

*3 サマープログラムの作文は Micro Plastics and Environment は日本語で、Artificial Intelligence in Science は英語で、どちらも手書きにてご記入ください。

| 申込みに必要な書類

新規でお申込みの方

- Musashi RED Programs 2026 参加申込書(所定用紙)
- 作文(サマープログラム(国内)申込の方のみ。イブニングプログラム申込の方は選考時にご記入いただきます)

現在 RED イブニングプログラムを受講中の方

RED プログラム授業内で申込みに必要な書類をご案内いたします。(現イブニングプログラム受講生は、通常作文のみで進級可否を判断しますが、担当講師の評価により、面接を実施する場合があります。面接が必要な受講生には、書類受付後に連絡します。)

※RED Fellows Capstone Program にお申込みをご希望の方は、別途お問い合わせください。

| 申込書の送付先

【郵送】〒176-8533 東京都練馬区豊玉上 1-26-1

学校法人根津育英会武蔵学園「RED プログラム推進センター」宛

【メール】red-office@musashi.jp

参加費について

| サマープログラム (国内)

プログラム	参加費	参加費納入期間(予定)
Micro Plastics and Environment	80,000 円 ^{*1}	6月29日(月)-7月6日(月)
Artificial Intelligence in Science	80,000 円	6月29日(月)-7月6日(月)

*1 参加費には、フィールドトリップの交通費(往路は各自負担、復路のバス代のみ)が含まれています。

「King's College London で科学を学ぶ RED 海外サマープログラム」、「オーストラリアでマリンサイエンスを学ぶ RED 海外サマープログラム」の参加費は、株式会社エステーエトラベルの募集案内をご覧ください。

| イブニングプログラム

プログラム	参加費 ^{*2}	参加費納入期間(予定)
Basic コース	360,000 円 ^{*3}	7月13日(月)-7月27日(月)
Intermediate コース	300,000 円	
Completion コース		

*2 すべてのイブニングプログラムの参加費には、教材費 10,000 円が含まれます。

*3 8/24~8/28 開催の準備コース「Ready for RED program」の参加費を含みます。Basic コースの受講生は、必ず受講してください。

| Advanced Program

プログラム	参加費 ^{*4}	参加費納入期間(予定)
Advanced Program ^{*5}	400,000 円	7月13日(月)-7月27日(月)

*4 参加費には、教材費 10,000 円が含まれます。

*5 Advanced Program は 8/24~8/28・8/31 開催の準備コース「Pre-Advanced Program」から授業を開始します。

| RED Fellows Capstone Program

プログラム	参加費	参加費納入期間(予定)
RED Fellows Capstone Program	・OIST ^{*6} で発表する場合:200,000 円(旅費等込み) ・OIST での発表ができない場合:100,000 円	後日ご案内します

*6 沖縄科学技術大学院大学。

| 参加費の納付

参加費の納付先は、選考後受講が決定しましたらご案内します。指定の期日までにお振込みください。

キャンセルポリシー

サマープログラム(国内:Micro Plastics and Environment, Artificial Intelligence in Science の2コース)

*海外サマープログラムのキャンセルポリシーは各プログラムのチラシ(募集要項)をご確認ください。

- サマープログラムの前日までに参加を取消される場合は、サマープログラムの参加費は全額返金します
- サマープログラム開始日以降に取消の場合には、返金いたしません

イブニングプログラム

- 今年度初めて RED に入られる受講生のみ第 1 学期を「トライアル期間」とします
- 1 学期中もしくは 1 学期を終了後から 2 学期が始まる前までに RED プログラム推進センターへ退校される旨をお申し出の場合に限り 2 学期・3 学期分の参加費を返金いたします
- それ以外のケース (2 学期以降に辞める場合、前年度から継続の RED 受講生の場合など) は返金いたしません。



プログラム開催地について

武蔵大学江古田キャンパス

〒176-8533 東京都練馬区豊玉上 1-26-1



電車

西武池袋線「江古田駅」より徒歩 6 分
 西武池袋線「桜台駅」より徒歩 8 分
 都営大江戸線「新江古田駅」より徒歩 7 分
 西武有楽町線「新桜台駅」より徒歩 5 分

バス

中野駅より関東バス江古田駅行「江古田駅」下車徒歩 5 分
 高円寺駅より関東バス・国際興業バス赤羽駅行「豊玉北」下車
 徒歩 5 分
 目白駅より都営バス練馬車庫行「武蔵大学前」下車徒歩 0 分



学校法人
根津育英会武蔵学園
 武蔵大学 武蔵高等学校 武蔵中学校



RED プログラム推進センター
 〒176-8533 東京都練馬区豊玉上 1-26-1
 TEL: 080-9527-2681
 Email: red-office@musashi.jp

募集要項・説明会等

RED 公式ホームページで最新情報を公開しています。

RED イブニングプログラムやサマープログラムの募集説明会や募集要項、申込みに関するご案内をご覧ください。